

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施 策	②体系的な道路ネットワークの構築
			施策の小項目名	○体系的な幹線道路ネットワークの構築
主な取組	那覇空港自動車道の整備		対応する成果指標	主要渋滞箇所数
施策の方向	・ 沖縄本島の南北軸と東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網（ハシゴ道路）、空港・港湾へのアクセス強化に資する重要物流道路や那覇都市圏の交通容量拡大、交通経路分散に寄与する２環状７放射道路の整備など体系的な幹線道路ネットワークの構築に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本島中南部・北部の各拠点の地域振興の支援、物流の効率化及び交通混雑の緩和を図るため、那覇空港自動車道(小禄道路)の整備を行う。	国	小禄道路の整備		
		整備促進に向けた県から国への要請回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課		【 098-866-2390 】	関連URL https://www.ogb.go.jp/kaiken/3434/11917/011623/011473

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名 道路交通円滑化改築 (国道506号)					予算事業名 道路交通円滑化改築 (国道506号)		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
国直轄	その他				主な財源	実施方法	当初予算額
					国直轄	その他	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
国は、小禄道路の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回(5月、11月)行った。					国は、小禄道路の整備を行う。県は当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し、早期整備等の要請を行う。		
予算事業名 国直轄事業県負担金 (国道506号)					予算事業名 国直轄事業県負担金 (国道506号)		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
県単等	負担				主な財源	実施方法	当初予算額
					県単等	負担	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
県は、国の小禄道路の整備に係る負担金を支出した。さらに県は国に対し、当該事業の促進を図るため早期整備等の要請を2回(5月、11月)行った。					県は、国の小禄道路の整備に係る負担金を確保する。さらに県は当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し、早期整備等の要請を行う。		
活動指標名	整備促進に向けた県から国への要請回数(累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	整備の実施	2回	2回(4回)	2回(4回)	100.0%	順調	国は、小禄道路の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回(5月、11月)行った。

様式 1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和5年度の要請回数は、目標値2回に対し実績は2回だったことから目標を達成しているため順調とした。 国において、小禄道路の整備が着々と進んでおり、完成後は広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセス改善、利便性向上及び産業の振興に寄与する。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
引き続き国に対し、早期整備の要望を2回行う。	県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	自動車保有台数やレンタカーの増加等に伴い、今後もさらなる交通量の増加が見込まれることから、当該道路の早期整備が望まれる。	⑧ その他	引き続き国に対し、早期整備の要請を2回行う。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施 策	②体系的な道路ネットワークの構築
			施策の小項目名	○体系的な幹線道路ネットワークの構築
主な取組	沖縄西海岸道路の整備		対応する成果指標	主要渋滞箇所数
施策の方向	・ 沖縄本島の南北軸と東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網（ハシゴ道路）、空港・港湾へのアクセス強化に資する重要物流道路や那覇都市圏の交通容量拡大、交通経路分散に寄与する２環状７放射道路の整備など体系的な幹線道路ネットワークの構築に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
中南部圏域西海岸の地域拠点、広域交流拠点、高規格幹線道路を相互に連絡し、物流の効率化、交通渋滞の緩和を図るため、沖縄西海岸道路(読谷道路等)の整備を行う。	国	読谷道路、浦添北道路、那覇北道路等の整備		
		整備促進に向けた県から国への要請回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課		【 098-866-2390 】	関連URL https://www.ogb.go.jp/kaiken/3434/11917/011623/011475

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名 道路交通円滑化改築事業（国道58号）					予算事業名 道路交通円滑化改築事業（国道58号）		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
国直轄	その他				主な財源	実施方法	当初予算額
					国直轄	その他	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
国は、読谷道路等の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。					国は、読谷道路等の整備を行う。県は、当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し、早期整備等の要請を行う。		
予算事業名 国直轄事業県負担金（国道58号）					予算事業名 国直轄事業県負担金（国道58号）		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
県単等	負担				主な財源	実施方法	当初予算額
					県単等	負担	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
県は、国の読谷道路等の整備に係る負担金を支出した。さらに県は国に対し当該事業の促進を図るため早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。					県は、国の読谷道路等の整備に係る負担金を確保する。さらに、県は当該事業の促進を図るため、引き続き国に対し早期整備等の要請を行う。		
活動指標名	整備促進に向けた県から国への要請回数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	整備の実施	2回	2回（4回）	2回（4回）	100.0%	順調	国は、読谷道路等の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。

様式 1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和5年度の要請回数は、目標値2回に対し実績は2回だったことから目標を達成しているため順調とした。 国において、読谷道路等の整備が着々と進んでおり、完成後は広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセス改善、利便性向上及び産業の振興に寄与する。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
引き続き国に対し、早期整備の要請を2回行う。	県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要請を2回（5月、11月）行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	自動車保有台数やレンタカーの増加等に伴い、今後もさらなる交通量の増加が見込まれることから、当該道路の早期整備が望まれる。	⑧ その他	引き続き国に対し、早期整備の要望を2回行う。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施 策	②体系的な道路ネットワークの構築
			施策の小項目名	○体系的な幹線道路ネットワークの構築
主な取組	ハシゴ道路ネットワークの構築		対応する成果指標	主要渋滞箇所数
施策の方向	・ 沖縄本島の南北軸と東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網（ハシゴ道路）、空港・港湾へのアクセス強化に資する重要物流道路や那覇都市圏の交通容量拡大、交通経路分散に寄与する２環状７放射道路の整備など体系的な幹線道路ネットワークの構築に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄本島の南北軸と東西軸を有機的に結ぶハシゴ道路、空港・港湾へのアクセス強化に資する重要物流道路や那覇都市圏の交通容量拡大等に寄与する2環状7放射道路の整備など体系的な幹線道路ネットワークの構築に取り組む。	県	浦添西原線、県道24号線バイパス、南部東道路、上之屋道路等の整備		
		整備済延長（累計）		
		0.4km	整備実施（0.4km）	1.6km（2.0km）
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課	【 098-866-2390 】	関連URL	—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名	地域連携推進事業費（地域高規格道路）				予算事業名	地域連携推進事業費（地域高規格道路）			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度				
内閣府計上	直接実施	2,647,995	2,103,191		主な財源	実施方法	当初予算額		
令和5年度活動内容					内閣府計上	直接実施	4,696,148		
南部東道路（橋梁工事、道路改良、用地補償）の整備を行った。					令和6年度活動計画				
予算事業名	高規格ICアクセス道路整備事業費等				予算事業名	高規格ICアクセス道路整備事業費等			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度				
内閣府計上	直接実施	3,542,938	2,341,791		主な財源	実施方法	当初予算額		
令和5年度活動内容					内閣府計上	直接実施	4,972,440		
幸地インター線（橋梁工事、道路改良、用地補償）、城間前田線（街路工事）等の整備を行った。					令和6年度活動計画				
					幸地インター線（橋梁工事、道路改良、用地補償）、城間前田線（街路工事）等の整備を行う。				
活動指標名	整備済延長（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要		
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B				
	整備実施	0.4km	整備実施（0.4km）	整備実施（0.4km）	100.0%	順調	南部東道路、幸地インター線等の整備を行った。		

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和5年度までの整備目標値を達成しているため、取組は順調と判断した。 ハシゴ道路ネットワークの構築を図ることで、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセス改善、利便性向上及び産業の振興を図る。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○難航した場合に代替箇所での工事が可能となるよう、用地担当と事業担当で密に調整を行い、計画的な用地交渉を実施する。 ○収用手続き期間を考慮した供用開始までのスケジュールを作成し、早期の用地取得に向けた工程管理を行う。	○四半期毎に用地担当、事業担当合同の執行会議を開催し、早期供用開始に繋がる用地取得に努めた。 ○用地取得等の課題を整理した工程表を作成し、工程管理を行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	南部東道路では、用地担当・事業担当合同の執行会議、関係機関（市・国）との連絡調整会議等を開催し、事業に支障となっている課題や事業工程の共有を行っているが、用地取得が課題となっている。	① 執行体制の改善	引き続き、執行会議、用地調整会議、連絡調整会議を開催し、関係機関と事業工程や課題の共有を行うほか、地元(市)との連携強化により、事業進捗の課題となっている用地の早期取得ならびに工事進捗を図る。
⑦ その他(改善余地の検証等)	浦添西原線（翁長～嘉手苅）において、今後重点整備を実施する区間の工事工程に合わせた用地取得計画について、担当者間での情報共有が十分でない状況があった。	⑧ その他	事業マネジメント会議を開催し、重点整備区間における整備工程の確認と課題の共有を行い、効率的な用地取得と工事の進捗を図る。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施 策	②体系的な道路ネットワークの構築
			施策の小項目名	○渋滞ボトルネック対策
主な取組	渋滞ボトルネック対策		対応する成果指標	主要渋滞箇所数
施策の方向	・ 短期的な渋滞対策である主要渋滞箇所における渋滞ボトルネック対策に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
主要渋滞箇所における交差点改良や右折帯設置等の渋滞ボトルネック対策に取り組む。	県	主要渋滞箇所の改良		
		改良箇所数(累計)		
		1箇所	1箇所(2箇所)	1箇所(3箇所)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課【 098-866-2390 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 沖縄振興公共投資交付金事業（道路）				予算事業名 沖縄振興公共投資交付金事業（道路）		
主な財源	実施方法	R4年度	R5年度	R6年度		
		決算額	決算見込額	主な財源	実施方法	
一括交付金（ハード）	直接実施	87,504	50,048	一括交付金（ハード）	直接実施	96,288
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
主要渋滞箇所の整備を実施した。				主要渋滞箇所の整備を実施する。		

活動指標名	改良箇所数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	1箇所	1箇所	1箇所（2箇所）	100.0%	順調	県道6号線の主要渋滞箇所における整備を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

R5年度に予定していた県道6号線の主要渋滞箇所における整備を実施したことから、「順調」とした。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
適切な工事発注時期を検討し、早期に工事を発注する。	早期に工事を発注したが、同じ箇所で複数回の入札不調が発生し、着手が遅れた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	渋滞対策工事は交通の切り回し等で通常の工事より難易度が高い傾向にあり、入札の不調や不落が発生しやすい。	⑧ その他	現場条件を反映させた適切な積算を実施し、工事発注単位、発注時期を調整することで入札の不調・不落を減らし、工事の進捗を図る。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施 策	③沖縄都市モノレールの機能強化
			施策の小項目名	○沖縄都市モノレールの安全・安心な運行継続
主な取組	モノレール施設の点検・修繕		対応する成果指標	モノレール乗客数
施策の方向	・ 沖縄都市モノレールは、県民や観光客の公共交通の基盤となっており、令和元年には、首里駅～てだこ浦西駅までの延長が実現し、県内唯一の定時定速の公共交通機関として重要性が増しているため、安全・安心な運行を継続できるよう取り組む必要があります。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
モノレールインフラ施設（軌道桁、支柱、駅舎等）について、長寿命化修繕計画に基づき、事業を実施し、施設の長寿命化、ライフサイクルコストの低減を図る。また、計画的な修繕によりモノレールの運行への影響を極力抑える。	県、事業者	長寿命化計画に基づくモノレールインフラ施設の修繕		
		長寿命化計画に基づく修繕の進捗率（事業費ベース）		
		6.1%	11.0%	14.3%
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレール課 【 098-866-2408 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	沖縄都市モノレール道整備事業（道路）				予算事業名	沖縄都市モノレール道整備事業（道路）	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
一括交付金 （ハード）	委託	0	219,990		主な財源	実施方法	当初予算額
					一括交付金 （ハード）	委託	91,788
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画			
首里駅、運営基地出入り口及びてだこ浦西駅の分岐器修繕を行った。また、モノレールインフラ施設（軌道桁、支柱）の定期点検も実施した。				首里駅、運営基地出入り口及びてだこ浦西駅の分岐器修繕を行う。			
活動指標名	長寿命化計画に基づく修繕の進捗率（事業費ベース）		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-%	0%	8.9%	11.0%	80.9%	概ね順調	首里駅、運営基地出入り口及びてだこ浦西駅の分岐器修繕を実施した。また、モノレールインフラ施設（軌道桁、支柱）の定期点検も実施した。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
分岐器の修繕及びモノレールインフラ施設（軌道桁、支柱）の定期点検を行っており、計画に基づき概ね順調に進捗している。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和5年度の取組改善案				反映状況			
・定期点検で確認された損傷箇所に対して補修を実施しながら、定期的に点検し、必要な補修設計・補修を実施する必要がある。				・施設の老朽化状況に鑑み、分岐器の補修を実施し、施設の長寿命化を図った。			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
③ 他地域等との比較 (内部要因)	・ 沖縄都市モノレールインフラ施設は、沖縄特有の高温多湿及び塩害などの厳しい自然環境により、鋼構造物の損傷・劣化が生じやすい。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	・ 腐食・劣化箇所の現状を把握するため、定期的に点検を実施するとともに、点検結果を踏まえた施設の修繕を計画的に実施していく。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施 策	③沖縄都市モノレールの機能強化
			施策の小項目名	○沖縄都市モノレールの輸送力増強の推進や高速化の検討等
主な取組	沖縄都市モノレール輸送力増強事業		対応する成果指標	モノレール乗客数
施策の方向	・乗客数も予想を上回るペースで増加していることから、地域間を結ぶ交通ネットワークの拡充を図るためにも、今後の需要動向を踏まえ定時速達性に優れた幹線公共交通機関として、モノレールの輸送力増強の推進や高速化の検討に取り組むとともに、駅舎の一部増築など、需要に合わせた整備を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄都市モノレールの時間当たりの最大混雑率を120%未満に抑えるため、2両1編成の車両を3両1編成化し、輸送力の増強を図る。また、これと併せて車両を留置する新車両基地を整備する。	県,那覇市,浦添市,事業者	輸送力増強に向けた3両編成車両の整備(車両整備、新車両基地整備、既存駅舎の改築等)		
		3両編成車両運行開始数(累計)		
		—	2編成	2編成(4編成)
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレール課		【 098-866-2408 】	関連URL
				—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	沖縄都市モノレール輸送力増強事業				予算事業名	沖縄都市モノレール輸送力増強事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
		主な財源	実施方法		当初予算額		
一括交付金 (ハード)	その他	6,584,108	6,194,040		一括交付金 (ハード)	その他	7,657,555
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
3両編成車両製造、可動安全柵設置工事、新車両基地工事を 実施した。					3両編成車両製造、新車両基地工事を実施する。		
予算事業名	沖縄都市モノレール輸送力増強事業（インフラ部）				予算事業名	沖縄都市モノレール輸送力増強事業（インフラ部）	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
		主な財源	実施方法		当初予算額		
一括交付金 (ハード)	直接実施	741,448	439,432		一括交付金 (ハード)	直接実施	275,264
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
分岐橋改修工事、下部工工事、上部工制作を実施した。					分岐器設置、上部工架設工事を実施する。		

活動指標名	3両編成車両運行開始数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	－	－	2編成	2編成	100.0%	順調	

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和5年度の目標であった3両編成車両2編成の運行開始については、モノレール開業20周年式典の開催と併せて3両編成車両2編成分を運行開始し、目標を達成した。今後利用者への更なる増加が見込まれることから、新車両基地の整備等に取り組み、残りの3両編成車両の一日も早い運行開始を実現し、利便性の向上を推進する。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
・事業主体である運行事業者と3両編成車両の運行開始に係るリスク要因の把握に勤め、適宜調整等を実施する。	・運行事業者と3両編成車両の運行開始に係る調整を密に実施し、課題や問題点を早急に解決したことにより、モノレール開業20周年記念日である8月10日に3両編成車両の運行を開始した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	・残りの3両車両編成の運行開始に係る工事のため、運航停止を行う可能性があることから毎月1回程度、運行事業者と調整を実施しているが、リスク要因の把握に時間を要している。	② 連携の強化・改善	・運行事業者や国、市町村等と連携を密にし、運行停止に係るリスク要因の把握に努めるとともに、運航停止を行う場合はできる限り利用者に影響が生じないように、停止期間の短縮や代替策の調整等を行う。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施 策	③沖縄都市モノレールの機能強化
			施策の小項目名	○定時・定速かつ利便性の高い公共交通ネットワークの形成
主な取組	幸地 I C（仮称）整備事業		対応する成果指標	モノレール乗客数
施策の方向	・沖縄自動車道と沖縄都市モノレール延長区間の結節やパーク・アンド・ライド駐車場の利用促進を図り、定時・定速かつ利便性の高い公共交通ネットワークの形成に取り組めます。加えて、関係機関等と協力し、沖縄都市モノレールとその他公共交通機関間の利用環境を改善させることで、県民及び観光客の移動利便性の向上を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄自動車道と沖縄都市モノレールの結節により定時・定速かつ利便性の高い公共交通ネットワークの形成を図るため、幸地IC(仮称)の整備を進める。	県	幸地ICの整備		
		整備進捗率		
		58.0%	69.2%	80.3%
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課		【 098-866-2390 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	高規格ICアクセス道路整備事業費			予算事業名	高規格ICアクセス道路整備事業費	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
内閣府計上	直接実施	1,951,330	1,317,064	主な財源	実施方法	当初予算額
				内閣府計上	直接実施	3,153,584
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
幸地IC（仮称）（道路改良工事、橋梁工事、用地補償等）の整備を行った。				幸地IC（仮称）（道路改良工事、橋梁工事、用地補償等）の整備を行う。		

活動指標名	整備進捗率		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	62.7%	82.7%	69.2%	100.0%	順調	幸地IC（仮称）（道路改良工事、法面対策工事、橋梁工事、用地補償）の整備を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

計画通りに進められていることから、取組は順調と判断した。
 定時・定速かつ利便性の高い公共交通ネットワーク形成に寄与する幸地IC（仮称）の整備を推進した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
補償物件の移転に時間を要している一部の未取得用地について、本体工事の施工に支障が出ないよう迂回路および工事用道路を整備し事業進捗を図る。	地権者と調整を行った結果、補償物件の移転並びに未取得用地の取得時期の目途が立った。 現場内の工事用道路の再検討および整備を行った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	本体工事の施工に支障が出ないように現場内の工事用道路を整備したことで一定の事業進捗が図られた。しかし、関連事業も当該工事用道路を使用する計画のため、工事用道路の効率的な運用が必要となる。	⑧ その他	現場内の工事用道路を共有している関連事業者との工事工程の調整を密に行い、事業進捗を図る。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施 策	③沖縄都市モノレールの機能強化
			施策の小項目名	○沖縄都市モノレールとその他公共交通機関間の利用環境の改善
主な取組	駅バス停間の移動円滑化		対応する成果指標	モノレール乗客数
施策の方向				

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄都市モノレール各駅の昇降機(エレベーター、エスカレーター)は、供用開始から20年以上が経過しており、老朽化が顕著である。今後も安定して昇降機を運用するため、計画的な改修を行う。	県	道路から駅舎への移動円滑化に向けた、既存駅昇降機(エレベーター、エスカレーター)の改修		
		改修完了駅数(累計)		
		設計	2 駅	2 駅(4 駅)
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレール課 【 098-866-2408 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄都市モノレール道整備事業費（道路）			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
一括交付金 （ハード）	委託	0	43,263	主な財源	実施方法	当初予算額
				—	—	0
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
引き続き昇降機改修の設計業務を行った。				—		

活動指標名	改修完了駅数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-	設計	0駅	2 駅	60.0%	やや遅れ	駅昇降機の改修については県内に事例がなく、令和5年度いっぱい設計に時間を要したが、他県の事例を収集しながら設計業務を完了させた。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和5年度の目標としていた2駅の昇降機（エレベーター、エスカレーター）改修工事について、これまで駅昇降機の改修については県内に事例がなく、設計業務に時間を要したことから、工事に着手することが出来なかったが、設計業務や工事の発注準備自体は完了していることから、進捗状況としては、「やや遅れ」と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
・事例を収集し、着実に設計業務を実施する。	・他県の事例等を収集し、設計業務を完了させた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
③ 他地域等との比較 (内部要因)	・ 沖縄都市モノレール各駅の昇降機（エレベーター、エスカレーター）は、沖縄特有の高温多湿及び塩害などの厳しい自然環境により、損傷・劣化が生じやすい。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	・ 沖縄都市モノレール各駅の昇降機（エレベーター、エスカレーター）の点検を行い、損傷・劣化状況を把握し、優先度に応じて計画的な改修を行う。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施 策	⑤過度な自家用車利用からの転換
			施策の小項目名	○交通需要マネジメント（TDM）施策の推進
主な取組	自転車利用環境の整備		対応する成果指標	てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場入庫台数
施策の方向	・シームレスな交通体系の構築により、自家用車の利便性を上回る交通環境を提供することにより、過度な自家用車利用から公共交通等への利用転換が図られることから、自転車通行空間の整備や、パーク・アンド・ライド、シェアサイクルの利用促進、モビリティ・マネジメント（MM）等の交通需要マネジメント（TDM）施策を推進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
都市部における渋滞対策及び低炭素都市づくりの実現に向け、既存道路に自転車走行位置を明示することにより自転車走行環境を確保し、自転車に頼らないライフスタイルへの転換、自転車の利用促進を図る。	県	自転車利用環境の整備		
		自転車通行空間の整備延長（累計）		
		0.3km	0.3km(0.6km)	0.3km(0.9km)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路管理課		【 098-866-2665 】	関連URL
				—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	公共交通安全事業			予算事業名	公共交通安全事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
一括交付金 (ハード)	直接実施	82,401	23,440	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ハード)	直接実施	93,000
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
県管理道路において、自転車通行空間の整備を0.7km実施した。				自転車通行空間の整備を0.3km実施する。		

活動指標名	自転車通行空間の整備延長（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	0.2km	0.1km	0.7km	0.3km (0.6km)	100.0%	順調	県管理道路において、自転車通行空間の整備を0.7km実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

自転車通行空間の計画延長0.3km（累計0.6km）に対して、整備延長0.7km（累計0.8km）となっていることから順調とした。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
既に策定されている自転車活用推進計画や自転車ネットワーク計画を基に、国や市町村と連携して自転車通行空間の整備を行う。 国の自転車施策に関する情報提供を行うとともに、市町村に対して計画策定に向けた支援を行う。	市町村が策定した自転車ネットワーク計画に基づき、国や市町村と連携して取り組んでいる。 市町村に対して、行政懇談会等において計画策定を促している。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	県内において、まだ断片的な整備しかなされていないため、計画的・効率的に自転車通行空間の整備を行う必要がある。	② 連携の強化・改善	既に策定されている自転車活用推進計画や自転車ネットワーク計画を基に、国や市町村と連携して自転車通行空間の整備を行う。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施 策	⑤過度な自家用車利用からの転換
			施策の小項目名	〇交通需要マネジメント（TDM）施策の推進
主な取組	パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進		対応する成果指標	てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場入庫台数
施策の方向	・シームレスな交通体系の構築により、自家用車の利便性を上回る交通環境を提供することにより、過度な自家用車利用から公共交通等への利用転換が図られることから、自転車通行空間の整備や、パーク・アンド・ライド、シェアサイクルの利用促進、モビリティ・マネジメント（MM）等の交通需要マネジメント（TDM）施策を推進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
パンフレットの配布等の周知活動により、パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進を図る。	県、事業者	パンフレットの配布等の周知活動によるパーク・アンド・ライドの利用促進		
		パンフレット配布回数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレール課 【 098-866-2408 】		関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	都市モノレール利用推進事業費				予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
県単等	委託	1,217	0		主な財源	実施方法	当初予算額
					—	—	0
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
指定管理者による駐車場の管理・運営の取り組みとして、利用促進に向けた広報活動を行った。					引き続き指定管理者において、パンフレットの配布等、幅広い方法で周知活動に取り組み、パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進を図る。		
活動指標名	パンフレット配布回数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-回	1回	1回	1回（2回）	100.0%	順調	R5年度はパンフレットを1回配布予定であったが、パンフレットに代わりデジタルサイネージによる周知活動を行った。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
R5年度はパンフレットを1回配布予定であったが、パンフレットに代わり、デジタルサイネージによる周知活動を行った。こうした周知活動の効果等もあって、R5年度の同駐車場の定期利用率は94%に達し、駐車場入庫台数は199,393台とR6年度目標値を上回る状況となっており、同駐車場の利用促進は順調に進捗している。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和5年度の取組改善案				反映状況			
・今後の利用者のさらなる増加に対応するため、キャッシュレス精算の導入やカーナビ等を利用した駐車場情報（満車空車情報）の提供を実施する。				・定期駐車券の販売やサービス券等の窓口販売においてキャッシュレス精算を導入し、利用者の利便性向上に取り組んだ。			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	・ 利用者の増加に伴い、キャッシュレス精算の拡充など、 様々な要望が利用者から挙がっている。	⑥ 変化に対応した取 組の改善	・ 一般駐車についてもキャッシュレス精算を導入し、更な る利便性向上に取り組む。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施 策	⑤過度な自家用車利用からの転換
			施策の小項目名	○道路利用の効率化の検討
主な取組	道路幅員構成の再配分の検討		対応する成果指標	てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場入庫台数
施策の方向	・IoTやリアルタイムモニタリング等を用いて人流、物流等のビッグデータを収集し、AI等を活用した交通システムや自動運転等により、道路利用の効率化が図られることから、公共交通や歩行者及び多様なモビリティに対応した道路空間の幅員構成再配分を検討します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
歩行者及び多様なモビリティに対応した道路空間の幅員再配分に向けた検討を行う。	県	最新技術の活用による地域の実情に応じた最適な道路空間の再配分に向けた検討		
		全国の事例調査、国動向の把握、課題整理等		
		実施	実施	実施
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課【 098-866-2390 】		関連URL	-

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名		-				予算事業名		-	
主な財源		実施方法		R4年度 決算額		R5年度 決算見込額			
—		—							
令和5年度活動内容						令和6年度活動計画			
道路幅員構成の再配分について、関係機関とのヒアリングを実施した。						道路空間の再配分について熟度を高めていくため、全国の事例収集や国動向の把握を行う。			

活動指標名		全国の事例調査、国動向の把握、課題整理等		R5年度			進捗状況		活動概要	
実績値		R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B				
		—	実施	実施	実施	100.0%	順調		道路幅員構成の再配分について、関係機関とのヒアリングを実施した。	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

道路幅員構成の再配分について関係機関とのヒアリングを実施したことから、順調とした。
道路幅員構成の再配分の検討を行うことで、歩行者及び多様なモビリティに対応した道路空間の創出に寄与する。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
道路幅員構成の再配分に向けて、取組内容の熟度を踏まえ、関係機関とのヒアリングを実施する。	道路幅員構成の再配分に向けて、関係機関とのヒアリングを実施し、整備方針の意向を確認した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	取組内容については、今後も熟度を高めていく必要がある。	⑧ その他	道路空間の再配分について熟度を高めていくため、全国の事例収集や国動向の把握を行う。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	シームレスな交通体系の整備	施 策	⑤過度な自家用車利用からの転換
			施策の小項目名	〇公・民・学連携による「沖縄型スマートシティ」の調査研究
主な取組	公・民・学の連携による交通・まちづくりの取組促進		対応する成果指標	てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場入庫台数
施策の方向	・人々のライフスタイルの変化等を踏まえ、本県の地域の実情に応じた「沖縄型スマートシティ」の形成を念頭に、SDGsやSociety5.0に対応する地域と交通のあり方の調査研究について、公・民・学が連携する体制を構築し、包括的・継続的に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
Society5.0等に対応する地域や交通・まちづくりに向けた、公・民・学の連携による実証実験や先導的な取組等へ参画する。	県,市町村等	Society5.0等に対応する地域や交通・まちづくりに向けた、公・民・学の連携による実証事業や先導的な取組等への参画		
		参画する取組等の数(内訳)		
		1件	1件(継続1件)	1件(継続1件)
担当部課【連絡先】	土木建築部土木総務課	【 098-866-2384 】	関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名		-				予算事業名		-	
主な財源		実施方法		R4年度 決算額		R5年度 決算見込額			
—		—							
令和5年度活動内容						令和6年度活動計画			
地域振興・公民連携に係る支援制度および先進事例等の情報収集や勉強会の実施。地域の交通・まちづくりに向けた取組について参画した。						地域振興・公民連携に係る支援制度および先進事例等の情報収集を行う。引き続き取組に参画する。			

活動指標名		参画する取組等の数（内訳）		R5年度			進捗状況	活動概要
		R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値		—	0件	1件	1件（継続1件）	100.0%	順調	PFI制度活用を検討している大型MICEエリアの協議会等の構成員として、地域の交通・まちづくりに向けた取組に参画した。県有施設へのPPP・PFIの利活用に向けた情報収集や発信、勉強会等を開催した。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果								
PFI制度活用を検討している大型MICEエリアの協議会等の構成員として、地域の交通・まちづくりに向けた取組に参画したことから、順調と判断した。								
(2) これまでの改善案の反映状況								
令和5年度の取組改善案					反映状況			
○ 地域の課題抽出や、公・民・学の連携まで展開しそうな取組について広く情報を収集し、課題解決のための交通・まちづくりに有効な取組の検討を行う。					○ 公・民・学の連携まで展開しそうな取組について情報を収集し、課題解決のための交通・まちづくりに有効な取組について参画した。			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	Society5.0等に対応していく上で、どのような課題があるか把握する必要がある。	⑧ その他	引き続き協議会等に参加し、Society5.0等に対応する地域や交通・まちづくりに向けて課題等の把握に向けて情報収集を行う。